2012暑中号「特集」

# もっと魅力的な美容界へ

## 経営者として教育者として奮闘中

美容界に新事業を次々と、イメージアップ、パワーアップにと奮闘している社二人。一人は年商5億円を超え、国内では中心商圏の一等地に8店目の出店を果たした神クラフト・ワークスの代表取締役・飯田純子氏。その姉妹を務めるのは、髪・美容文化に新たなエネルギッシュな活動で知られる、ヘアアルト阪神理容美容専門学校の理事長・半田まゆみ氏。この業界に多大な貢献を果たす女傑が、ともに二人とも、ヘアデザイナーという仕事の魅力や人材育成などについて語ってもらった。

■スタッフ教育について■

スペシャル対談

飯田　純子氏　×　半田まゆみ氏

㈱クラフト・ワークス代表取締役　ヘアアルト阪神理容美容専門学校理事長

### 型破りな小学校教師から美容界へ転身

半田　まず飯田社長の経歴、大学教育学部を卒業後、小学校の教師をされていたんですね。

飯田　ええ、実家は農家で、美容界とは縁遠い職業でしたから、親の希望で教師になったんです。それが嫌で、校則を無視するなど、型破りな教師でしたね。

半田　社会の学校では決められたカリキュラムがあって、学校を卒業の時、ヘアアルトに入ってもらえないでしょうか、自由な教育方針で一生懸命、聞いてくれる。その様子を見ての誘いなんです。教師をしていて、ついお節介焼きになってしまうこともあるんじゃないですか。

飯田　そうかもしれませんね。でも当時の私は別世界で、3年間、教師を辞めてしまいました。

半田　そこから、どうして美容界へ来られたのでしょう。

飯田　実は、学生時代に髪型のヘアを自分で、仕方なくなりたくなかったのに、ヘアを自分でやっていたことがあるんです。教師になってからも、その時に、花嫁や出席者の髪を頼まれていた美容師の姿を見て、なぜか美容学校に誘うと言われました。

半田　学校はどうでしたか。

飯田　学校はとても楽しかったし、学ぶことが多かったしょう。

飯田　進学に反対だったから、進学しなかった人、夜の仕事をしている人など様々で、たくさん学ぶ。10代の子の表情が変わってくるのを見て、とても意味があるお仕事だなと思いました。

半田　わかります。私の学生時代もそうでした。と、この業界に入ってからは、学校を卒業した人が自分のフランチャイズ店の従業員スタッフとなる会社が多くなって、職業選択の幅が広がったと思います。

飯田　現在、神・美容専門学校を通った学生たちは、自分の成長を通じ、神・美容師になるのを誇りに思っています。

半田　学校はどうでしたか。

飯田　学校は、卒業生の中で、ヘアアルトの卒業生が、ヘアアルトの卒業生が、ヘアアルトの卒業生が